

令和5年2月28日 第3回有識者委員会開催 テーマ/ 男女共同参画を加速・促進するための方策案

委員長/ 太田信介、委員/ 鈴木紀之、富山英幸、西岡真帆

(敬称略、委員五十音順)

あと3年、理事長等幹部の皆さん、理事会などで意識の醸成をしてお願いします。
協議会※に説明等の支援も依頼できます。推進体制の強化、協議会の講師の人材育成が急務です。

※土地改良区運営基盤強化協議会：都道府県ごとに設置された男女共同参画等の推進母体です。



太田委員長

土地連（指導する側）の女性理事登用も必要です。
各県でしゃべれる人を最低1人は作っていく、同じように国でもまずは農政局に、男女共同参画の意義といった本論がしゃべれる人を育てなくてはなりません。運動を主導する側の人材育成が急務です。



全国水士里ネット
室本専務理事



農水省鈴木係員

必要ならば土地改良区の理事会に出席して、我々が説明します。
きちんと説明できる土地改良区の人が、地域の中に入り込んで、理事候補を自ら見つけてくる必要があります。

運動を主導する側の人材育成については、
各組織において、手足になってくれる人が
必要です。



鈴木委員



富山委員



西岡委員

【目標達成に向けた推進体制】

協議会自体の行動計画が必要ではないでしょうか。支援の計画をしっかりと確立しておかないと、1年があつという間に過ぎてしまうような気がします。

【個別土地改良区等への対応】

協議会の支援チームのレベルをある程度上げていかないといけないと思います。
「とりあえずやっています」ではなく、男女共同参画がなぜ、土地改良区や地域に必要なのかを十分理解し、理事長等に確実に説明できるようにすることが必要だと思います。

【中小規模土地改良区対策】

登用における手続に土地改良区の大小は関係ありません。事例が1、2出てくれば、むしろこれらを参考に
して中小の方が動きやすいのではないのでしょうか。

いさわへいや
令和5年3月、先進事例の胆沢平野土地改良区(岩手県) を取材しました



総代の皆さんがこの人と決めて説得しました。令和5年2月に3人の女性の理事（員外）が選任され、既に経費節減などの提案をいただいています。（千田（ちだ）理事長）

■抱負

土地改良区の重要性が改めて分かりました。
まずは、自分が土地改良の仕事を知ることです。

■理事になってもいいと思ったきっかけ

総代の方からどうかお願いしたいと頼まれ、ここまで言われたらと引き受ける気になりました。

■女性理事候補がないという意見について

男性は地域を知らない、だから女性も知らない。
「いない」でなく「知らない」のだと思います。

※取材の詳細は、後日季刊誌等でお知らせします。

ひと口メモ：女性理事登用のヒント

「員内」まずは組合員でいませんか（農地所有適格法人は、登記上の代表のみならず耕作者である女性構成員も理事候補になり得ます。）

「員外」・組合員のご家族（妻や娘）
・農業委員、JA役員、自治会役員など
・行政の審議会等の委員
・多面的機能支払交付金の活動を主導する方
・経理、会計、6次産業、広報等に詳しい方